

藤岡地域包括支援センター 担当

日 時： 令和6年9月18日（水）午後14時05分～14時35分

会 場： 栃木市役所大平総合支所 第3会議室

事例数： 1ケース

参加者数： 13名

事例提供者1名、助言者7名、サービス事業者1名

包括職員2名、傍聴者2名

変形性膝関節症により足の痛みがあり意欲低下している 87歳女性

〈目標〉1日：毎日体を動かす習慣を身に着け、明るく前向きに生活出来る

1年：両足の痛みやしびれが改善し、外出しても疲れない体力をつけたい

利用サービス：通所リハビリ・福祉用具レンタル

《生活全般の解決すべき課題》

- 脊柱管狭窄症や左膝痛、左手首骨折などにより左半身が弱く、転倒の不安が大きい。
- 家族以外の人と話をしないため、気持ちが弱く悲観的になってしまう。

《助言者からの助言内容》

- 本人の興味があることからサポートを行い、それをきっかけに少しずつ ADL を上げていく工夫をする。
- 合わない義歯を使用し続けず、新しいものを新調した方が良いため歯科受診を勧める。
- 食事の時に前かがみになり過ぎないように、食べる時の姿勢を調整する。
- 本人にはやりたいという気持ちがあるので、痛みに関して環境設定をすると良い。
- 目で見てイメージが湧くように、広告などを一緒に見たり、買い物に出かけたり調理をするのはどうか。
- 傾聴ボランティアやふれあい在宅サービスなどのサービス利用をしてはどうか。



現在出来ている事は継続し、家族が協力的であるため口腔ケア、食事、リハビリ等、会議でのアドバイスを家族と共有し実施することで、現在の身体機能を維持する。

☆地域課題（地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等）

- 口腔ケアの意識が低いため、意識を高めることが必要。